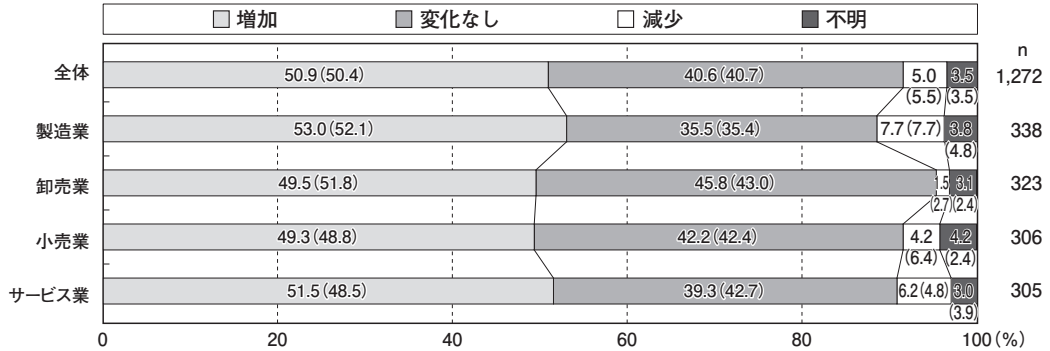


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した 2024年（令和 6 年）10月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が 50.9%（前回調査 50.4%）と最も高く、「変化なし」が 40.6%（同40.7%）、「減少」が 5.0%（同5.5%）の順で続いた。

図表10 コストの変化（前年同月比）



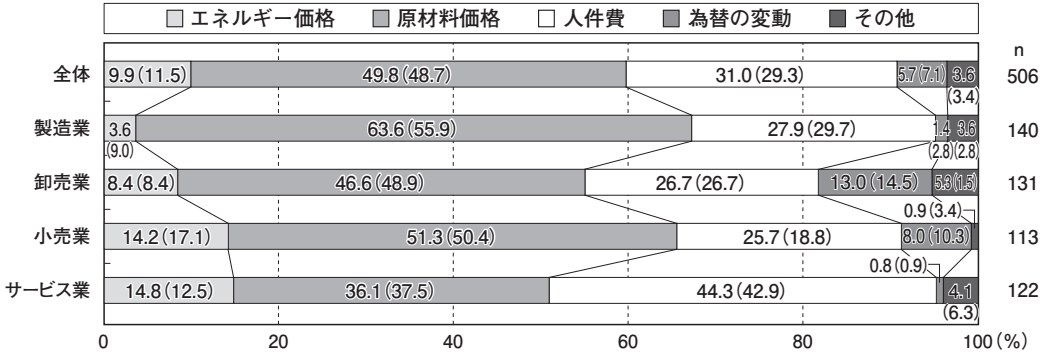
注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和 6 年10月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が 49.8%（前回調査 48.7%）と最も高く、「人件費」が 31.0%（同29.3%）、「エネルギー価格」が 9.9%（同11.5%）、「為替の変動」が 5.7%（同7.1%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が 63.6%（同55.9%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の 13.0%（同14.5%）、サービス業は「エネルギー価格」の 14.8%（同12.5%）と「人件費」の 44.3%（同42.9%）がそれぞれ高い。

図表11 コスト増加の最大の要因



注）コストの変化（前年同月比）（図表10）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 6 年10月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。